

個人情報保護理念

当協会は、会員およびオリエンテリング愛好者の個人情報の適切な保護と利用を図るため、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）を遵守するとともに、個人情報の機密性・正確性の確保に努めます。

2012年6月5日

公益社団法人 日本オリエンテリング協会

1. 個人情報とは

特定の個人を識別できる情報で当協会の場合「住所、氏名、性別、年齢、生年月日、電話番号、E-mail アドレス、所属クラブ、選手登録番号等」をいいます。

2. 個人情報の取得と本人の同意について

あらかじめ利用の目的を明確にして個人情報の取得をします。この場合、個人情報は本人の同意をもとに取得します。

3. 個人情報の利用目的について

当協会は、個人情報の提供者との信頼関係の維持を第一義とします。個人情報の利用は、定款に定められた当協会の事業の遂行と会員である都道府県オリエンテリング協会との円滑な業務遂行ならびにオリエンティア・賛助会員各位への広報・サービス提供に利用し、このほかの目的に個人情報を利用することはありません。また、法令等により開示が求められた場合等を除き、個人情報を第三者に開示することはありません。具体的な主要利用例を次に示します。

(1) 賛助会員維持業務のため

(2) 当協会主催大会・公認大会開催に伴う競技者登録確認と大会を円滑に遂行するため

(3) 当協会登録のインストラクター、ディレクタ、コントローラ事業の維持・管理のため

(4) メールマガジンの配信・申し込み受付等購読者へのサービスのため

4. 個人情報の管理について

当協会が取得した個人情報は、その利用目的達成のために正確かつ最新のデータ内容の維持に努めます。

5. 個人情報の開示・訂正・利用停止について

(1) 請求者がご本人であることを確認の上遅滞なく対処します。

(2) 個人情報の開示・訂正・利用停止等が必要な場合は、下記当協会事務局に連絡してください。

6. 個人情報の安全管理について

当協会は各位の個人情報の漏洩、紛失等を防止するための措置を講じます。

7. 個人情報保護に関する質問・苦情・異議の申し立てについて

当協会は、個人情報の取扱いに係る各位からの苦情処理に適切に取り組めます。ご質問・苦情等につきましては下記までご連絡ください。

個人情報に関する相談窓口

公益社団法人 日本オリエンテリング協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 4階

電話 03-5843-1907 FAX 03-5843-1913 E-mail: joa@orienteering.or.jp

個人情報の取得目的文例

1. JOA 主催大会参加申込書

「個人情報の取扱いについて: 記載内容は本大会のプログラム・成績書作成・公表、照会等大会運営以外の目的には使用いたしません。ご本人の同意のもとに必要事項を記入してください。」

2. 競技者登録

「個人情報の取扱いについて: 記載内容は、当協会主催大会、公認大会の運営にあたって参加者の競技者登録確認の目的以外に使用いたしません。毎年度会員組織の協力を得て作成する競技者登録者一覧は、会員事務局及び公認大会主催者に送付・公開します。ご本人の同意のもとに必要事項を記入してください。」

3. インストラクター、ディレクタ、コントローラ講習会・登録・更新等の業務

「個人情報の取扱いについて: 記載内容は指導者名簿の作成、名簿の会員(都道府県オリエンテリング協会)送付、指導者講習会・ニュース送付等指導者育成・普及事業以外の目的に使用することはありません。ご本人の同意のもとに必要事項を記入してください。」

4. メールマガジン購読申込書

「個人情報の取扱いについて: 記載内容はメールマガジン配信・広報・更新等購読者対象事業以外に使用することはありません。ご本人の同意のもとに必要事項を記入してください。」

個人情報管理規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人日本オリエンテーリング協会(以下「この法人」という。)が定める「個人情報保護に関する基本方針」に従い、個人情報の適正な取扱いに関してこの法人の役職員が遵守すべき事項を定め、これを実施運用することにより個人情報を適切に保護・管理することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程及びこの規程に基づいて策定される規則等において使用する用語については、次のとおりとする。

(1) 個人情報

「個人情報」とは、生存する個人に関する情報で、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができるものを含む)をいう。

(2) 個人情報データベース等

「個人情報データベース等」とは、個人情報を含む情報の集積で、次に掲げるものをいう。

ア 特定の個人情報をコンピューターを用いて検索することができるように体系的に構成したもの

イ 前号に掲げるもののほか、特定の個人情報を容易に検索することができるように体系的に構成したものであって、目次、索引その他検索を容易にするためのものを有するもの

(3) 個人データ

「個人データ」とは、個人情報データベース等を構成する個人情報をいう。

(4) 本人

「本人」とは、当該個人情報によって識別される、又は識別され得る、生存する特定の個人をいう。

(5) 役職員等

「役職員等」とは、この法人に所属するすべての理事、監事及び職員をいう。

(6) 個人情報管理責任者

「個人情報管理責任者」とは、会長によって指名された者であって、個人情報保護コンプライアンス・プログラムの運用に関する責任と権限を有する者をいう。

(適用範囲)

第3条 この規程は、すべての役職員等に適用する。また、退職後においても在任又は在籍中に取得・アクセスした個人情報については、この規程に従うものとする。

2 この法人の事業について委嘱又は依頼を受けた者が、この法人の業務に従事する場合には、当該従事者は、この規程を遵守しなければならない。

3 前項の従事者を管理する立場にある者は、当該従事者に対し、この規程の遵守を確保するために必要な措置を講じなければならない。

(個人情報管理責任者)

第4条 この法人においては、事務局長を個人情報管理責任者とする。

2 個人情報管理責任者は、必要に応じて、この法人で取扱う個人情報について、この規程に定める諸事項を実施・徹底するため、個人情報保護コンプライアンス・プログラム等の細則を策定しなければならない。

3 個人情報管理責任者は、この規程等の適正な実施及び運用を図り、個人情報が外部に漏洩したり、不正に使用されたり、あるいは改竄されたりすること等がないように管理する責を負う。

(個人情報の取得)

第5条 個人情報の取得は、適法かつ公正な方法によって行い、偽りその他不正な手段によって取得してはならない。

2 本人から直接に個人情報を取得する場合には、本人(本人が未成年者の場合はその保護者。以下「本人等」という。)に対して、次に掲げる事項又

はそれと同等以上の内容の事項を、書面又はこれに代わる方法によって通知し、本人等の同意を得なければならない。

- (1) この法人の名称、個人情報管理責任者の氏名及び連絡先
- (2) 個人情報の利用目的
- (3) 保有個人データに関する次に掲げる権利の存在及び当該権利行使のための方法ア 当該データの利用目的の通知を求める権利
イ 当該データの開示を求める権利及び第三者提供の停止を求める権利
ウ 当該データに誤りがある場合にその内容の訂正、追加又は削除を求める権利エ 当該データの利用の停止又は消去を求める権利

3 本人等以外の者から間接的に個人情報を取得する場合には、本人等に対して、前項アからエに掲げる事項を書面又はこれに代わる方法で通知し、本人等の同意を得なければならない。

(利用目的及び個人情報の利用)

第6条 個人情報を取扱うに当たっては、事前にその利用目的を明確に定めるものとし、当該利用目的は、この法人の業務において必要な範囲であり、かつ本人等から同意を得た利用目的の範囲内でなければならない。

(個人情報の提供)

第7条 法令で定める場合を除き、個人情報は第三者に提供してはならない。

2 前項の定めにかかわらず、この法人の業務を遂行するために当該業務等の一部又は全部を第三者に委託する必要がある場合には、次に掲げる条件を満たす業務委託先(以下「委託先」という)に限り、本人等が事前承諾した利用目的の範囲内において個人情報を当該業務委託先に対して提供できるものとする。

- (1) 社会通念上相当な事業活動を営む者であること
- (2) 個人情報の保護に関し、この規程と同等以上の規程を有し、かつその適正な運用及び実施がなされている者であること
- (3) この法人との間に、適正な内容の個人情報の保護に関する定めを締結し、これを遵守することが見込まれる者であること

3 前項の業務委託を行う場合は、事前に個人情報管理責任者による承諾を得なければならない。

4 本条第2項の定めに従い、個人情報を取扱う業務を第三者に委託した場合には、この法人が当該業務委託先に課した個人情報の適切な管理義務が、確実に遵守されるよう適時、確認・指導するものとする。

(個人情報の正確性確保)

第8条 個人情報は、利用目的達成に必要な範囲内において、正確かつ最新の内容に保つよう管理運営しなければならない。

(安全管理)

第9条 個人情報管理責任者は、個人情報の安全管理のため、個人情報の不正アクセス、漏洩、滅失又は毀損防止に努めるものとする。

2 個人情報管理責任者は、必要に応じて個人情報の安全管理のため、必要かつ適正な措置を定めるものとし、当該個人情報を取扱う役員等に遵守させなければならない。

(役員等の監督)

第10条 個人情報管理責任者は、個人情報等の安全管理が図られるよう、個人情報を扱う役員等に対して必要かつ適切な指導・監督を定期的に行わなければならない。

(個人情報等の消去・廃棄)

第11条 保有する必要がなくなった個人情報等については、直ちに当該個人情報を消去・破棄しなければならない。

2 個人情報管理責任者は、個人情報の消去・破棄を行うにあたり、消去・廃棄の日、消去・廃棄した個人情報等の内容及び消去・廃棄の方法を書面に記録し、これをこの法人の「文書管理規程」に定める期間、保存しなければならない。

(通報及び調査義務等)

第 12 条 役職員等は、個人情報外部に漏洩していることを知った場合又はそのおそれがあると気づいた場合には、直ちに個人情報管理責任者に通報しなければならない。

2 個人情報管理責任者は、個人情報の外部への漏洩について役職員等から通報を受けた場合には、直ちに事実関係を調査しなければならない。

(報告及び対策)

第 13 条 個人情報管理責任者は、前条に基づく事実関係の調査の結果、個人情報外部に漏洩していることを確認した場合には、直ちに次の各号に掲げる事項を関係機関に報告しなければならない。ア 漏洩した情報の範囲

イ 漏洩先

ウ 漏洩した日時

エ その他調査で判明した事実

2 個人情報管理責任者は、関係機関とも相談のうえ、当該漏洩についての具体的な対応及び対策を講じるとともに、再発防止策を策定しなければならない。

(自己情報に関する権利)

第 14 条 本人から自己の情報について開示を求められた場合は、原則として合理的な期間内にこれに応じるものとする。また、開示の結果、誤った情報あり、訂正又は削除を求められた場合は、原則として合理的な期間内にこれに応じるとともに、訂正又は削除を行った場合は、可能な範囲内で当該個人情報の受領者に対して通知を行うものとする。

(個人情報の利用又は提供の拒否権)

第 15 条 この法人が既に保有している個人情報について、本人からの自己の情報についての利用又は第三者への提供を拒まれた場合は、これに応じるものとする。ただし、つぎに掲げるいずれかに該当する場合は、この限りではない。

(1) 法令の規定による場合

(2) 本人又は公衆の生命、健康、財産などの重大な利益を保護するために必要な場合

(苦情の処理)

第 16 条 この法人の個人情報の取り扱いに関する苦情の窓口業務は、事務局が担当する。

2 個人情報管理責任者は、前項の目的を達成するために必要な体制の整備並びに支援を行なう。

(改 廃)

第 17 条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附 則

この規程は、公益認定を受け移行の登記をした平成24 年6 月5 日から施行する。